

## スペイン地域研究の基本文献

### 〈事典類〉

池上・牛島他監修『[スペイン・ポルトガルを知る事典〔新訂増補〕](#)』平凡社、2001年  
百科事典をベースに編纂されているため、幅広い分野の事項が収録されている。手元にあると有用。

川成洋、坂東省次編『[スペイン文化事典](#)』丸善、2011年  
スペインの文化に限って簡単な調べ物をするならこちら。

野々山真輝帆『[スペインを知るための60章](#)』明石書店、2002年

坂東・桑原・浅香編著『[スペインのガリシアを知るための50章](#)』明石書店、2011年

坂東省次編著『[現代スペインを知るための60章](#)』明石書店、2013年

明石書店のエリア・スタディーズのシリーズ。カタルーニャ編などが今後刊行予定。

### 〈ハンドブック〉

牛島信明、川成洋、坂東省次編『[スペイン学を学ぶ人のために](#)』世界思想社、1999年

坂東省次、戸門一衛、碓順治編『[現代スペイン情報ハンドブック](#)』三修社、2007年（改訂版）

碓順治編『[ヨーロッパ読本 スペイン](#)』河出書房新社、2008年

川成洋、坂東省次編『[現代スペイン読本 知っておきたい文化・社会・民族](#)』丸善、2008年

これらのハンドブック類は目次を開いて興味をひかれたところを拾い読みしていくと良い。

### 〈歴史〉

立石博高、関哲行、中川功、中塚次郎『[スペインの歴史](#)』昭和堂、1998年

大学レベルのスタンダードなスペイン史の教科書。

立石博高編『[スペイン・ポルトガル史](#)』山川出版社、2000年

関哲行、立石博高、中塚次郎編『[スペイン史1 古代-近世](#)』山川出版社、2008年

関哲行、立石博高、中塚次郎編『[スペイン史2 近現代・地域からの視座](#)』山川出版社、2008年

もう少し高度な内容を求める人、より本格的にスペイン史を学習したいという人向け。

ピエール・ヴィラルール『[スペイン史](#)』藤田一成訳、白水社（文庫クセジュ）、2009年（初版1992年）

歴史の教科書はとかく分厚すぎる、とにかくまずは薄いものを！という人向け。

立石・中塚編『[スペインにおける国家と地域](#)』国際書院、2002年

それぞれの専門家による、カタルーニャ、バスク、ガリシア、アンダルシア地方の歴史。

スペインの多様性、国民国家、ナショナリズム、地域主義を考える第一歩に。

### 〈文化〉

『[世界美術大全集西洋編](#)』全28巻+別巻1巻、小学館、1992-1997年

牛島信明『[スペイン古典文学史](#)』名古屋大学出版会、1997年

牛島信明編訳『[スペイン黄金世紀演劇集](#)』名古屋大学出版会、2003年

神吉敬三『[プラドで見た夢：スペイン美術への誘い](#)』中央公論新社（中公文庫）、2002年（初版1980年）

ラファエル・ラペサ『[スペイン語の歴史](#)』山田善郎監修、中岡省治・三好準之介訳、昭和堂、2004年

佐竹謙一『[概説 スペイン文学史](#)』研究社、2009年

ここではスペイン文化に関連する通史的な性格の書物を中心に挙げた。通史は特定の作品や作者の位置づけを知るためのガイドとして有用だが、それだけをいくら読んでも上っ面の知識しか得られない。スペインの文学、演劇、映画、音楽、美術などの個々の作品に積極的に触れて、自分の趣味と批評眼を育ててほしい。

なお、美術・建築については図版の多い手頃な通史は少ないが、写真の質が高い『[世界美術大全集西洋編](#)』の目次と索引を活用してスペインに関連するページを拾い読みしていくことでかなりカバーできる。

### 〈学術雑誌〉

『[スペイン史研究](#)』スペイン史学会

（ホームページの「文献目録」(<http://www.sjhe.org/biblio1.html>)からスペイン史関連の邦語雑誌論文の検索ができる）

『[HISPÁNICA](#)』日本イスパニヤ学会

『[スペイン語学研究](#)』東京スペイン語学研究会

『[スペイン・ラテンアメリカ美術史研究](#)』スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会

上から順にスペインの歴史、言語・文学など文化一般、言語、美術史を扱う学会・研究会の会誌。

(2013年9月 久米 順子)